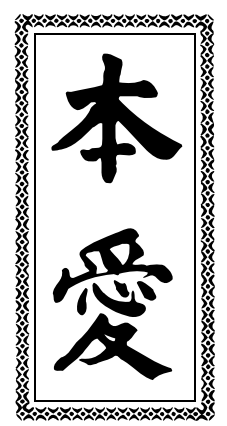


「道の台」の使命を胸に

婦人会本愛支部第92回総会を開催

婦人会本愛支部は5月20日、第92回総会を開催した。3年ぶりとなるこの総会に、委員部長をはじめ多くの会員が参集。おつとめとてをどりに続いて総会式典が行われ、会員らは婦人会員としての自覚も新たに、成人の歩みを進めることを誓った。



発行
天理教本愛大教会
〒453-0821
名古屋市中村区大宮町1-60
TEL (052) 461-4326
MAIL mail@hon-ai.org
〒632-0071
奈良県天理市田井庄町19-1
TEL (0743) 62-0378
編集責任 広報部



婦人会本愛支部第92回総会が、5月20日、大教会において開催された。一昨年からのコロナ禍によつて開催を見合わせてきたが、3年ぶりに開催された今総会は、3月に任命された新支部長と共に迎える初めての総会ともなった。当日は委員部長をはじめ、婦人会員らが参集し、

年間活動目標
創立110周年に向かって
今日を陽気に。
おつとめ おたすけ ひのきしん

午前10時よりおつとめと十二下りてをどりが陽気に勤められ、引き続き総会式典が執り行われた。式典ではまず婦人会本部からの祝辞を頂戴し、成人目標に沿った婦人会員の歩み方をお論じいただいた。続いて祝辞に立った大教会長は、婦人会員に対して、陽気ぐらしの台として、大教会の活動目標である「今日を陽気に」を心に置いて通ること、小さな「つなぎ」を大切にしておたすけを行っていきよう話した。そして安藤くみ子前支部長が挨拶に立ち、平成4年の就任以来の支援と次の代に交代できたことに対する感謝の意を述べ、「これからも私たち一人ひとり、陽

気ぐらしをめざして、しっかりと今日も陽気に通れるよう、ほこりを払わせていただいで、日々通らせていただきたい」と語った。その後、新支部長から前支部長に感謝の花束が手渡されると、会場内からは大きな拍手が贈られた。

最後に安藤ちかい支部長が挨拶に立った。支部長は「今、支部長としての実感が湧いてきた」として、常に教祖を慕って歩んできた歴代支部長の思いを受け継ぎ、本愛の婦人会員と心を合わせて、親神様・教祖に喜んでもらえるようつとめると語った。また女性の言葉や行動が周囲に与える影響について述べ、まずは家庭や教会を笑顔にし、それを周囲に映していくことが、コロナ禍でにをいがけ、おたすけが充分に行えない中、大切なをいがけになるとして、どんな中でも明るく通るよう呼びかけた。

6月の「よみ」	入社祭	1日	午前10時
	よふき会例会	2日	午前10時
	こはる会例会	3日	午前10時
	月次祭	13日	午前10時
	青年会例会	13日	午前10時
	布教実修所	14日	午前10時
	むつみ会例会	16日	午前10時
	こども食堂MOGU	17日	午後5時
	ほんあいOKEIKO	19日	午前10時
	女子青年例会	19日	午前10時
	婦人会例会	20日	午前10時
	修養科志願者面接	25日	午後1時
	本日月次祭	26日	午前9時

(於 本愛語所)

現代に生かす

「用木の道」

文・安藤吉人



今回は基本に戻って、安藤正吉初代会長様の『みかぐらうた講話』をもとに、おつとめの第2節「ちよとはなし」について考えてみたいと思います。

世界の最小単位は夫婦

結論から言えば、この「ちよとはなし」で親神様が仰つておられることは、世の中のすべては「夫婦」を起点にして始まっているということだと私は思います。世界の最小単位が「夫婦」であり、その二人の心が合わさるところから、世界の治まりを見せていただけるのだと悟れるのではないかと考えます。

もう少し詳しく考えてみ



結論から言えば、この「ちよとはなし」で親神様が仰つておられることは、世の中のすべては「夫婦」を起点にして始まっているということだと私は思います。世界の最小単位が「夫婦」であり、その二人の心が合わさるところから、世界の治まりを見せていただけるのだと悟れるのではないかと考えます。

ましよう。「このよのちいとてんとをかたどりで」の部分では、両手の人差し指を前に出し、左手をひっくり返しながら右手を上を持ち上げます。

先人の先生方の悟りではよく「体の右側は女性の理、左側は男性の理」と聞かせていただきます。一方で、十全の守護の説き分けでは、「天は男の理、地は女性の理」ともお聞かせいただきます。

えます。教祖に長く仕えられた榊井孝四郎先生はこのことについて、「ちよつと変に思うのであるが、夫婦というものは、上も下もない、一つのものである。裏表のように一つのものであると共に、女であるからあかん、男であるから偉いというようなものでない、月日抱き合わせの五分五分であるごとく、温み五分、水気五分との五分五分の理であるごとく、優劣上下の問題でないという理をことさらにこう現してください「ている」と述べておられます。また、「ふうふをこしらへきたるでな」の部分の手振りは左の手のひらに右の手を軽くぶつける動作です。この手振りについて、梅谷四郎兵衛先生は、教祖から「ふたりの内ハどちらこちら^{の理}のりハあるふまい、此りも同じ事、どちら上や、こちら下やのへだてない」と

聞かせていただいたと書き残しておられます。

社会的にまだ女性の立場が低く扱われていた時代であることを踏まえれば、この教えの尊さがさらに深く感じられる気がします。

初代会長様も、この理を踏まえて家庭に起きてくるさまざまな問題の根本には、夫婦の心の不一致があると示しておられます。

「夫婦の不都合は地震と同様である。(中略)夫婦の心が陰気であった場合は曇天となり(中略)子供の病気のある家は、夫婦の心が絶えず意見が合わないということである(中略)何時も晴天の心で一家に曇天もなく、大風もなく嵐もなく愉快に世渡りをして家庭の円満をはかつてゆかねばならぬ」

私も今年で結婚10年目を迎えます。家族の円満は夫婦からと心に治め直して、日々を歩みたいと思います。

連載の内容を YouTube でご覧いただけます！

今回の連載の内容を動画でも配信中！
『本愛誌』連載企画と一緒にご覧いただくと、
より理解が深まります！



チャンネル登録

教理随想

言わん言えんの理を探る



創立百十周年を
目指す本愛よ
うぼくにとつて、
忘れてならない
のは初代会長様
の信仰信念です。
初代様は生涯
を通して「神恩
報謝」を説き続
けられましたが、
その根底にある
のは、すべての

めておぢばがえりをされる
その日の朝、幼い次男が出
直されました。それが朝七
時過ぎの出来事で、列車団
参の出発は、当時は夜行列
車なので夜の十一時。支度
を整える時間を差し引いて
も、夫婦で話し合う時間は
十分にあっただろうと想像
できます。会話の内容は今
となつては知る由もありま
せんが、安藤家に次々と降
りかかる大節を、単なる不
幸や災難としてとらえるの
ではなく、親神様から与え
られた試練と悟られたこと
は間違いないでしょう。そ
して熟慮の末、後事を家人
に任せて団参に参加するこ
とを決心されました。この
決断が今に至る本愛の礎に
なっているといつても過言

ではありません。
我が身に起きてくる出来
事の中に親神様の思召を悟
り、それを柱として、教え
に沿って歩む日々が神一条
の道です。我が子が続けて
失うという深い悲しみの中
で、理の親の声を頼りに神
一条の道を貫かれたのが初
代会長様ご夫妻でした。以
来一世紀以上の間、親神様
は後に続く本愛の教信者を
親心で導き、初代様の決心
を手本として神一条の道を
歩むことを強くお促しにな
っています。

初代様の道すがらであり、
我欲と我が身思案を断ち切
る勇氣と眞実を親神様は待
ちかねておられるのです。
かくて、物事の判断基準
を親神様の思召に求めて歩
む時、心に喜びが芽生え、
報恩感謝の信仰が培われて
いきます。反対に、神一条
の精神がゆるめば、喜びが
「ほこり」にかき消されて、
報恩感謝の心は薄れていき
ます。そう考えると、神一
条の精神こそ陽気ぐらしの
原動力である。この点を心
に留めておきたいものです。

■神と人間との仲介役

さて本年後半の取り組み
として、九月から「秋のひ
のきしんおぢばがえり」が
実施されます。これは十一
月までの三か月間に、教会
や家族単位でおぢばへ帰り、
親里でひのきしんに励もう
という趣旨で、大勢の参加
が呼びかけられています。
現在、私たちの周囲には
身上や事情で苦しむ人が後
を絶ちません。そうした人
に一度でも多く声をかけ、
おぢばへお誘いして、親神
様・教祖の存在と眞にたす
かる道を伝えることがおぢ
ばがえりの目標であり、神
と人間との仲介役を果たす
のがようぼくの使命です。
しかし、一方的に伝えるだ
けでは仲介役にはなりません。
まず相手の胸の内をじ
つくり聞いて心のしわを取
り、鮮やかなご守護を願っ
ておつとめをつとめる、そ
の誠の心にふしぎな働きを
見せていただけなのです。

【第 90 回】
神一条の信仰を常に忘れず
おぢばがえりを推進しよう

教祖百四十年祭三年千日
の幕開けを約半年後に控え
た今日、私たちの努力が、お
ぢば帰参者と別席者の増加
という具体的な形となつて
現れるよう、神一条の精神
でおたすけに励んで、おぢ
ばがえりの推進を誓おうで
はありませんか。それが初
代会長様のご恩に報いる眞
の親孝行の道であります。

教会長資格検定講習会

修了者

(令和4年5月17日付)

本道橋 出口順一郎
以上1名

教人登録者

(令和4年4月30日付)

本知(本正徳)水野ひなよ
以上1名

教会長資格検定合格者

(令和4年5月18日付)

本道橋 出口順一郎
以上1名

4月の初席者

本濱松 落合由貴菜
本正義 鬼頭つかさ
藤本 優
以上3名

本尾愛分教会初代会長

大池弘定之霊の十年祭

本尾愛分教会では5月3日午前11時より、初代会長・大池弘定之霊の十年祭が、同分教会で行われた。

ほんあいOKEIKO

6月19日(日)
7月17日(日)
午前10時~(90分)
書道・ダンス・ピアノ
の各クラス
※申込不要、参加無料

会長就任奉告祭

本穂分教会(桑子彰会長)では、5月4日午前11時より、大教会長夫妻を迎え四代会長就任奉告祭が賑やかに執り行われた。

り、大教会長祭主のもと御目標様鎮座祭を厳かに執行。

翌8日午前10時より、大教会長夫妻をはじめ、上級本穂分教会長夫妻、兄弟教会長らを迎え、七

会長就任奉告祭

代会長就任並神楽落成奉告祭が賑やかに執り行われた。

本穂分教会(相原知宏会長)では、5月22日午前11時より、大教会長夫妻をはじめ、世話人・佐藤正成役員、加藤和徳・千種区支部長らの来賓を迎え、七代会長就任奉告祭が賑やかに執り行われた。

会長就任並
神殿落成奉告祭

本築港分教会(本築部属・山下秀伸会長)では、5月7日午後7時よ



本築港分教会

大教会日誌

令和4年4月25日~令和4年5月24日

4月

- 26日 本部月次祭
- 28日 こはる会例会
- 29日 全教一斉ひのきしんデー
- 30日 常任役員会議◇役員会議

5月

- 1日 入社祭
祭主・大教会長 扨者・大橋 進、加藤成幸
指図方・大倉八郎 賛者・山本正太郎、中島裕信
縦の伝道講習会
講師一少年会本部副委員長・寺門幸治先生
- 2日 よふき会例会
- 12日 常任役員会議

- 13日 月次祭
祭主・大教会長 扨者・松原友治、杉村善男
指図方・大倉八郎 賛者・安井 篤、松原 悟
◇大教会長挨拶
青年会例会
- 14日 布教実修所
- 16日 むつみ会例会
- 17日 こども食堂MOGU (参加者 47名)
- 20日 天理教婦人会本愛支部 第92回総会
- 22日 女子青年例会
ほんあいOKEIKO (参加者 20名)
- 24日 こはる会例会